

# チャレンジファーマーカレッジ 平成30年度募集要項

## “チャレンジファーマーカレッジ”とは？

チャレンジファーマーカレッジは、家庭菜園から一歩進んで、名古屋市内で農地を借りて耕作し収穫物の販売も手掛けてみたい方や、定年帰農などで市内で耕作を始める方に、必要な栽培技術を習得していただくために開催する講座です。貸農園や家庭菜園などで農作業の経験のある方などを対象とし、この講座を修了された方は「農地バンク制度」に登録することができます。<sup>注</sup>

注：「農地バンク制度」は、農地所有者が耕作や管理が困難になった農地を登録し、借受希望者へ紹介して貸借を支援する制度です。詳細は、名古屋市公式ウェブサイト「農地バンク制度」のページをご覧ください。

なお、講座終了後に、農地の利用を保証するものではありません。農地の場所や貸借条件等希望する条件の農地が見つからない場合があります。

（「農地バンク制度」についてのお問合せは、名古屋市農業委員会農政課（電話：972-2462）までお願いします。）

## プログラム概要

- 講座の目標 家庭菜園から一歩進んで、販売できる程度の品質の野菜が栽培できる
- 受講期間 平成30年4月10日～平成31年3月5日
- 実習ほ場 名古屋市農業センター内のほ場（畑）
- 受講内容

### 実習

受講生自身で立てた栽培計画<sup>注</sup>に基づき、実習ほ場の割当の区画で講師の指導を受けながら野菜を栽培します。また、実習ほ場でとれた収穫物の販売実習を行います。

注：栽培を始める前に、栽培計画を講師が確認します。また、栽培する野菜の種類を、一部、農業センターで指定します。

- 実習区画 50m<sup>2</sup>/名
- ほ場使用料 35,000円/年  
(各区画でとれた収穫物は、その区画の受講生に帰属します。)
- 栽培指導日 原則、毎週火曜日午前(休園日、農作業の端境期を除きます。)
- 指導内容 野菜の栽培及び収穫物の調製方法など
- その他 ○種苗、肥料、被覆資材等は、受講生が各自で準備してください。  
鋤、備中など一部の農具、管理機(小型の耕耘機)等をほ場に備え付けています。  
○指導は、必要に応じ農薬や化学肥料を使用する栽培を基本とします。  
○販売実習は、日曜日を予定しています。

### 講習

野菜栽培の基礎、販売時の注意点、農地管理などについて11回の座学を予定

### 修了の認定

ほ場の管理状況、目標の達成状況等をもとに、農業センター所長が修了の可否を判断します。